

戦中戦後の学校給食 仙台編

仙台市は昭和初期から学童の身体測定を実施し健康教育に熱心に取り組んできており、戦前から戦中にかけて給食を実施してきた学校もあります。

さらに戦後はユニセフのミルク給食のモデル校となった学校もあり、島野市長の健康都市宣言のもと、先進的な学校給食を実施していました。

本講座では、資料並びに、当時の栄養士や調理師、児童として体験をした人たちへの聞き取りをもとに、その実際について明らかにし、現代の学校給食の土台に迫ります。

●開催日時 2023年1月21日(土) 13:30~15:00

●講師 氏家 幸子 (うじいえ ゆきこ)



【講師プロフィール】

仙台白百合女子大学人間学部健康栄養学科准教授。給食経営管理論、給食経営管理実習、臨地実習、学校栄養教育論、学校栄養教育法、学校栄養教育実習などを担当。

前職は、学校栄養職員及び栄養教諭であり、学校給食現場で長年勤務していた。

学校給食関係の研究では、仙台市の事例をもとにした「戦前から戦後にわたる学校給食の歴史について」や「学校給食の献立の変遷に関する研究」、「学校給食日誌から見る気仙沼市立小学校の献立の推移」がある。また、栄養教諭が行う小中学校における食育の実態について、全国規模のグループ研究を行っている。

●会場 仙台市市民活動サポートセンター 6F セミナーホール

(仙台市青葉区一番町4丁目1-3 地下鉄広瀬通駅 西5番出口すぐ)

- 受講料 無料
- 対象 どなたでも受講できます
- 定員 30名
- 申込締切 2023年1月13日(金)
- 申込方法 氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、E-mail アドレスをご記入の上、はがき、FAX、またはE-mailでお申込ください。

○お申込・お問い合わせ先

仙台白百合女子大学 地域貢献研究センター

〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号

直通 TEL 022-374-5090 FAX 022-374-4577

代表 TEL 022-372-3254 FAX 022-375-4343

E-mail event@sendai-shirayuri.ac.jp

